

平成 29 年度 第 2 回部門長会議 議事録

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 平成 29 年 12 月 7 日 (木) 18:30~20:00

場所 岐阜県臨床検査技師会 事務所

出席者 浅野・帖佐・近藤・関・石田・石郷 (景)・林・渡邊・日高・八島・後藤・

委任状 森・森本

記録 関敏秀

議題

1. 部長 (議長) 挨拶
2. 秋季拡大研修会・病院協会の参加報告 ※別紙報告書① 参照
3. 県学会の進捗状況 ※別紙報告書② 参照
 - ・ 広告協賛は 10 社を目標にこれから募集します。
 - ・ 一般演題の不足について、各部門の新人に呼びかけをお願いします。(浅野)
4. 今年度における活動報告、来年度・予算作成について ※別紙報告書③ 参照
 - ・ 早急にエクセル入力シート、学術計画のファイルを送ります。(12/8 受領済)
5. 日臨技学術奨励賞 特別賞 該当者について ※別紙報告書④ 参照
 - ・ 現在該当者報告はありません。日臨技の締切日は平成 30 年 2 月 9 日 (金)。各部門長は該当者の確認、ご報告を早々をお願いします。
6. 岐阜県臨床検査技師会会誌について ※別紙報告書⑤ 参照
 - ・ 現在応募はありません。各部門 1 名推薦をお願いします。去年は応募ゼロのため岐阜大学医学部附属病院にて賄いました。是非ご協力をお願いします。
 - ・ 各 部門長へ 今年度演題発表された部門員、会員の方へお声かけ下さい。(浅野)
 - ・ 生理部門 1 演題提出予定です。(石郷)
 - ・ 掲載条件に、学会の演題やに投稿されていない論文であること。とあるが、演題発表された演題でもいいのか? (後藤) 受理します。(帖佐・浅野)
7. 日臨技総会の座長推薦 ※別紙報告書⑥ 参照
 - ・ 臨床化学 (森さゆり)、血液 (渡邊宜典)、免疫血清 (石田秀和) 3 分野 3 名を推薦。
8. 春季拡大研修会・今後の担当 ※別紙報告書⑦ 参照
 - ・ 平成 30 年度 春季拡大研修会の担当は臨床化学と一般とする。テーマはこれから選考する。担当地区は西濃地区。
 - ・ 平成 30 年度 秋季拡大研修会の担当は病理と遺伝子とする。担当地区は東濃地区。
9. 新人サポート研修会 日程、場所
 - ・ 場所は例年通り、岐阜科学医療大学 (高崎先生) に依頼する。
 - ・ 日程は平成 30 年 5 月末 (2018.5.27) を予定とする。

- ・今年度のアンケートは岐臨技 HP にて閲覧可能である。※学生アンケートの集計は除く。(近藤)
- ・今年度のアンケートの内容(採血好評など)を取り入れて、時間配分や企画内容を来年度計画に盛り込んでください。(浅野)

10. 理事会報告

- ・来年度の「検査と健康展」について開催場所が未定。持ち回り制となり、岐阜地区か東濃地区か飛騨地区で検討予定。

11. 今年度の「検査と健康展」について

- ・「いきいきフェスタ」との合同開催であったが来場者が少なかった。昨年までのショッピングモールとは違い、フェスタ来場者のみのお客しか見込めず、人の流れに影響した可能性もある。(浅野)
- ・生理部門は他部門の欠員補助に回ったのもあり、非常に忙しい一日であった。肺機能検査を行ったが衛生面で問題と思える事例があり、次年度予算にマウスピースの購入を申請したい。(石郷) 申請許可します。(浅野)
- ・集客できるブース(何か検査できる)とできないブース(パネルのみ)とあるが、スタンプラリーなど、カードを配布して全ブースを回ってもらえる仕組みがあるとよい。(渡邊)
- ・本来の「検査と健康展」の趣旨は学生へ臨床検査技師志望を抱くようにとの旨であったが、11月という学生にとって試験勉強時期と重なり、企画成立が困難とも思えるが、創意工夫を凝らし、来年度も引き続きご尽力お願いします。(浅野)

12. その他

- ・春・秋季拡大研修会では、各部門長がテーマに沿って講師との渉外も行うが、実行委員でないため、事前打ち合わせなど、実費で活動しないといけない。可能であれば、当日の運営も行うとして、実務委員の構成メンバーに入れてほしい。(石郷)
- ・技師会会員の中で退職者は、学術研修会などお知らせが手元に行き届き難い状況にあるとの情報が寄せられています。情報のメール配信など、退職者(施設勤務)に対して何か対策はないでしょうか?(石郷)
- ・部門長への資格規定などはありますでしょうか?
- 当該部門の副部長の経験があること、日臨技あるいは支部圏の学会で主発表をしていること、過去10年以内で日臨技生涯教育を終了していること。役員(理事、監事)でないこと。(平成28年度部門長会議資料より)
- ・日臨技生涯教育を終了するには基礎点の履修が必要です。総会、精度管理、健康祭など、積極的に参加するように広報してください。(浅野)
- ・部門長等の交代については12月31日までにお知らせください。来年度計画(案)も同じです。(帖佐)
- ・平成31年10月12日(土)~13日(日)、平成31年度第58回中部圏支部医学検査学会が岐阜県で開催されます。場所は長良川国際会議場(メイン・会議室)12~13日、岐阜都ホテル(懇親会会場)12日。テーマは飛躍。学会前日イブニング

セミナーなど当日の企画について、今から準備をお願いします。(浅野)

・演題募集は150を目標。岐阜県各部門10演題は登録するようにご協力願います。(浅野)

・企画演出など、ご意見・助言などありましたらお聞かせください。(浅野)

以 上

署名人 _____ 帖佐 光洋



署名人 _____ 浅野 敦



署名人 _____ 近藤 眞一



別紙報告書①

平成 29 年度 第 2 回部門長会議：12 月 7 日（木）

次第) 平成 29 年度 秋季拡大研修会・第 33 回岐阜県病院協会医学会 報告

- 1) 11 月 12 日、世界生活文化センター（高山市）にて、臨床生理検査部門（司会：石郷景子先生）と臨床検査総合部門（司会：森さゆり先生）の、拡大研修会が行われました。

参加人数 59 名の内、技師会員 57 名の参加登録を行いました。

決算報告等の詳細につきましては、12/15 の理事会にて飛騨地区理事よりご報告予定です。

- 2) 10 月 29 日、長良川国際会議場（岐阜市）にて、第 33 回岐阜県病院協会医学会が開催され、会員の中から多くの演者、座長の方がみられました。

学会参加登録、演者登録、座長登録、全て完了しております。

以上

第56回岐阜県医学検査学会

資料：1

学会開催日：平成30年3月25日（日曜日）午前9：00受付 午前9：30より開催

学会会場：OKBふれあい会館 3階 大会議室（302）

実務委員準備：3月24日（土曜日）17：30より会場設営

3月25日（日曜日）午前9：00受付開始（スタッフ8：30集合）

進捗状況

1、第56回岐阜県医学検査学会実務委員役割分担

学会長：岐阜大学医学部附属病院 臨床検査技師長 野久 謙先生

実行委員長：林 博之理事

事務局：高木 康雄理事、後藤 浩理事、早川 恭江理事、内藤 斉会員、

武藤 次郎会員、森 晴雄会員

2、県学会演題数：12例（生理部門8演題・輸血免疫部門1演題・

病理細胞部門1演題・微生物部門2演題）

3、ランチョン2社：富士レビオ（株）・ロシュ・ダイアグノスティック（株）

富士レビオ：「夜間・緊急検査時での免疫検査のピットフォール」

講師：福田 雅之助氏

ロシュ：未定

4、広告協賛：現在の所1社（1月31日が締め切り）10社

4、教育講演：清島 満先生（岐阜大学大学院医学研究科病態情報解析医学教授）

5、市民公開講座：奥田昌子先生「日本人のための健康法とは」ポスター作製済

市民対象にプレゼント5冊：奥田昌子著：欧米人とはこんなに違った日本人の体質

平成30年2月に広告掲載3社：咲楽・広報Gifu・GiFUTOに依頼済み

6、一般演題座長：岐阜地区の各部門員さんにお声をかける予定です。

7、学会プログラム（案）

9：00～ 受付開始

9：30～9：40 第56回岐阜県医学検査学会開催

第56回岐阜県医学検査学会学会長挨拶：野久謙学会長

岐阜県臨床検査技師会会長挨拶：岐阜県臨床検査技師会会長

9：40～10：40 一般演題6例

10：50～11：50 教育講演：清島 満先生

12：00～13：00 ランチョンセミナー2社

13：00～ 市民公開講座 受付・入場開始

13：20～14：20 市民公開講座：奥田 昌子先生

14：30～15：30 一般演題6例

15：30 閉会の辞：実行委員長

ト新ト
エナリ
不-22-181

岐阜県臨床検査技師会

資料：2

各部門長 各位

平成 29 年 12 月 7 日
(一社)岐阜県臨床衛生検査技師会
会 長 兼子 徹
副会長 浅野 敦
学術部長 帖佐 光洋

今年度における活動報告確認と

来年度・予算案計画案作成のお願い

来年度の 6 月開催の定時総会にて、平成 29 年度の部門別研究班研修会の活動報告・平成 30 年度計画案を報告することになります。各研究班長さんは今年度の活動報告の確認と、来年度の計画案を提出して頂くよう、必要であれば部門長副部門長会議等を開催して期日までに報告をお願いします。

【平成 29 年度 部門別研究班研修会の中間報告確認について】

1. 「学術カレンダー2017」の下部見出しにある「会計」を選択すると学術部事業報告へ移動します。
2. 該当研究班の内容を確認して下さい。内容に問題があれば学術部の近藤先生まで報告して下さい。修正対応します。

【平成 30 年度 部門別研究班研修会 予算案・計画案の提出について】

平成 30 年 2 月の理事会にて学術部における予算・中間決算・次年度計画案の報告をします。理事会承認にて次年度活動を実施出来ることとなります。理事会報告のために以下の内容を検討して報告して下さい。

1. **必要であれば部門長副部門長会議を開催して検討して下さい。**
部門長副部門長会議を開催する場合、事前に会議申請書を学術部長に提出して下さい。
開催までに承認されると当日までに「日当」「交通費」「食卓費」を準備します。承認が事後の場合は後日の支払いとなります。
開催終了後は議事録を作成して学術部長に提出して下さい。
2. 平成 30 年度の部門別研究班研修会の計画案・予算案を審議して議事録を作成して下さい。
3. 部門長・副部門長・精度管理担当者の変更・追加等を審議して、変更があれば議事録に記載して報告して下さい。
4. 平成 30 年度の中部圏支部研修会で担当県が「岐阜」になっている該当研究班は研修会の準備をお願いします。

上記事項を審議して下さい

別紙報告書③

【今後の作業日程について】

1. 来年度予算（案）について

兼子会長より後日 前年度同様の Excel 入力シートが配布されます。
平成 29 年 12 月 20 日（水）までに岐阜大 帖佐までメール報告
内容確認して平成 29 年 12 月 24 日（日）に兼子会長に報告

2. 来年度計画（案）・部門長等交代等について

特定の書式はありません。会議の議事録でも結構です
平成 29 年 12 月 31 日（日）までに岐阜大 帖佐までメール報告

上記報告に関しては、学術カレンダーの「次年度計画・予算案」のアイコンをクリックすることで内容確認出来るようにしてあります。

平成 30 年 1 月の常務理事会で内容を審議

平成 30 年 2 月の理事会で承認してもらい次年度活動を行う。

以 上

平成 29 年 11 月 7 日

会員の皆様

(一社) 岐阜県臨床検査技師会
会長 兼子 徹
<公印省略>

日臨技学術奨励賞「優秀論文賞」「特別奨励賞」 推薦のお願い

今年もだんだん残り少なくなってきましたがいかがお過ごしでしょうか？
秋は健康関連のハイシーズンで、各地で健康イベント、いろいろな研修会と岐
臨技事業にご協力いただき、ありがとうございます。

ところで、日臨技から、学術奨励賞「優秀論文賞」「特別奨励賞」推薦の案
内がやってきました。別紙を参照の上、該当者をご存知の場合はお知らせくだ
さい。

ご連絡は 岐臨技事務所
Eメール giringi-office@giringi.jp
電話 058-275-5596
FAX 058-213-0220

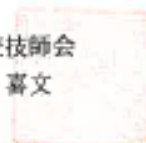
〒500-8384
岐阜市藪田南 3-5-10 コスタ岐阜県庁前 603 号室



29日臨技発 第404号
平成 29年 11月 1日

都道府県臨床衛生検査技師会
会長 各位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事 会長 宮島 喜文



各賞受賞候補者の推薦について（依頼）

晩秋の候、平素は、当会活動にご協力いただきお礼申し上げます。

さて、当会では、「表彰規程」に基づき各賞候補者の推薦を依頼します。

つきましては、別添の「各賞受賞候補者推薦要領」を参照のうえ、各受賞候補者を推薦くださるようお願いいたします。

また、賞の対象者となる正会員とは、「平成30年4月1日をもって正会員であること」ですのでご注意ください。

締切日厳守の上、選考されますよう併せてお願いいたします。

記

締切日：平成30年2月9日（金）必着

《添付関係書類》

I. 関係資料

1. 表彰規程 1部
2. 各賞受賞候補者推薦要領 1部

II. 所定の推薦書用紙

1. 日臨技学術奨励賞「優秀論文賞」推薦用紙
2. 日臨技学術奨励賞「特別奨励賞」推薦用紙

各推薦用紙が不足の場合は、恐縮ですが、これをコピーして使用してください。

III 永年職務精励者表彰は日臨技推薦となりますので、該当候補者名簿（候補者がいる場合のみ）を参考までにお送りします。

以上

別紙報告書④

各賞受賞候補者推薦要領

表彰名	推薦者	被推薦者の条件	日臨技締切日	備考
永年職務精励賞	日臨技推薦	表彰規程 第4条のとおり 表彰を受ける年の4月1日(基準日)をもって満50歳以上、且つ、通算25年以上この法人に所属している正会員とする。 2 ただし、基準日までに被表彰年度の年会費未納者を除く。		
日臨技有功賞	会長賞	表彰規程 第5条のとおり 顕著な功績を有し、表彰を受ける年の4月1日をもって満50歳以上、通算25年以上この法人に所属している正会員とする。 2 顕著な功績とは、この法人の発展に指導的な役割を果たすとともに、臨床・衛生検査技術または、これに密接な関係がある学術・技術の発展に及ぼした多大な貢献をいう。	平成30年2月9日 (必着)	
	功労賞	表彰規程 第6条のとおり この法人の永年職務精励賞を受賞した者で、次の各号に該当する正会員とする。 一 表彰を受ける年の4月1日をもって満60歳以上であること。 二 この法人及び支部(旧法人地区技師会も含む)の役員経歴が通算満10年以上で、現役員でないこと。ただし、この法人の役員経歴は3期以上とする。	平成30年2月9日 (必着)	
	特別賞	この賞の推薦は依頼しません。 表彰規程 第7条のとおり 表彰委員会が必要と認める個人あるいは法人とする。 2 前二項は、国内外を問わないものとする。		
日臨技学術奨励賞	優秀論文賞	表彰規程 第8条のとおり 会誌「医学検査」第66巻 1号～6号に掲載された論文(原著、研究、症例、資料、機器・試薬)とする。 2 この優秀論文賞のうち特に画期的な1編を「最優秀論文賞」として表彰することができる。	平成30年2月9日 (必着)	[公募の案内はホームページとJMTマガジン11月号に掲載]
	優秀演題賞	表彰規程 第9条のとおり 第66回日本医学検査学会に発表された演題とする 2 この優秀演題賞のうち1編を「最優秀演題賞」として表彰することができる。	平成30年2月9日 (必着)	
	特別奨励賞	表彰規程 第10条のとおり 満35歳以下の正会員を対象とし、第66回日本医学検査学会発表演題もしくは、会誌「医学検査」第66巻 1号～6号に掲載された論文が独創的であり将来性があると認められるもの。	平成30年2月9日 (必着)	
支部 支部学術 奨励賞	各支部で選考	支部学会表彰規程 第五条のとおり 1. 支部学会において優れた一般演題発表を行った35歳未満の会員 2. その他、選考委員会において、表彰にふさわしいと決定された会員	平成30年2月9日 (必着)	選考委員会は、支部長(選考委員会委員長)、支部内幹事、当該年度支部学会長及び学術責任者、当該年度支部学会長が指名した者。

別紙報告書④

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 表彰規程

平成 23 年 11 月 12 日制定

平成 25 年 7 月 27 日改定

平成 27 年 12 月 5 日改定

(目的)

第 1 条 この規程は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会(以下「この法人」という。)が行う表彰事業に関する事項について定める。

(表彰の種類)

第 2 条 この法人が事業として独自に行う表彰の種類は、次の各号とする。

- 一 永年職務精励賞
- 二 日臨技有功賞
 - イ 会長賞
 - ロ 功労賞
 - ハ 特別賞
- 三 日臨技学術奨励賞
 - イ 優秀論文賞
 - ロ 優秀演題賞
 - ハ 特別奨励賞
- 四 日臨交流功労賞
- 五 その他の表彰

(表彰の対象)

第 3 条 前条各号の対象は、この法人に所属する個人又は法人とする。

2 各賞の表彰はそれぞれ若干名とする。

(永年職務精励賞の対象と選考基準)

第 4 条 永年職務精励賞は、表彰を受ける年の 4 月 1 日(基準日)をもって満 50 歳以上、且つ、通算 25 年以上この法人に所属している正会員とする。

2 ただし、基準日までに被表彰年度の年会費未納者を除く。

(会長賞の対象と選考基準)

第 5 条 会長賞は、顕著な功績を有し、表彰を受ける年の 4 月 1 日をもって満 50 歳以上、通算 25 年以上この法人に所属している正会員とする。

2 顕著な功績とは、この法人の発展に指導的な役割を果たすとともに、臨床・衛生検査技術または、これに密接な関係がある学術・技術の発展に及ぼした多大な貢献をいう。

(功労賞の対象と選考基準)

第 6 条 功労賞は、この法人の永年職務精励賞を受賞した者で、次の各号に該当する正会員とする。

- 一 表彰を受ける年の 4 月 1 日をもって満 60 歳以上であること。
- 二 この法人及び支部(旧法人地区技師会も含む)の役員経歴が通算満 10 年以上で、現役員でないこと。ただし、この法人の役員経歴は 3 期以上とする。

(特別賞の対象と選考基準)

第 7 条 特別賞は、表彰委員会が妥当と認める個人あるいは法人とする。

別紙報告書④

2 前二項は、国内外を問わないものとする。

(優秀論文賞の対象と選考基準)

第8条 優秀論文賞の対象は、表彰日前年のこの法人の会誌「医学検査」に掲載された論文(原著、研究、症例、資料、機器・試薬)とする。

2 この優秀論文賞のうち特に画期的な1編を「最優秀論文賞」として表彰することができる。

(優秀演題賞の対象と選考基準)

第9条 優秀演題賞は、前年にこの法人が開催する医学検査学会に発表された演題とする。

2 この優秀演題賞のうち1編を「最優秀演題賞」として表彰することができる。

(特別奨励賞の対象と選考基準)

第10条 特別奨励賞は、満35歳以下の正会員を対象とし、この法人が開催する医学検査学会に発表された演題もしくは、表彰日前年のこの法人の会誌「医学検査」に掲載された論文が独創的で将来性があると認められるものとする。支部学術奨励賞については別に定める「支部学会表彰規程」によるものとする。

(日韓交流功労賞の対象と選考基準)

第11条 日韓交流功労賞の対象は、この会が行う大韓臨床病理士協会との交流において顕著な功労の認められる者とする。

(日臨技学生表彰の対象と審査基準)

第12条 別に定める「日臨技学生表彰会長賞表彰審査基準」による。

(表彰委員会)

第13条 各賞の被表彰候補者の選考および審査を行うため表彰委員会を設置する。

2 その構成員は、この法人の会長を含む理事若干名とする。

3 その運営に関する庶務は、事務局が掌理する。

(被表彰候補者推薦の手続き)

第14条 各賞の被表彰候補者の推薦人は次の区分による。

一 日臨技有功賞のうち会長賞、功労賞にあつては、この法人の理事とする。

二 日臨技学術奨励賞のうち優秀論文賞にあつては、都道府県技師会長、この法人の理事、医学検査編集担当者・査読者のほか、自薦も可とする。

三 日臨技学術奨励賞のうち優秀演題賞にあつては、医学検査学会学会長・座長・抄録査読担当者、この法人の理事とする。

四 日臨技学術奨励賞のうち特別奨励賞にあつては、医学検査学会学会長・座長・抄録査読担当者、都道府県技師会長、この法人の理事、医学検査編集担当者・査読者のほか、自薦も可とする。

2 特別賞の推薦にあつては、広く関係者に意見を求めることができる。

(日韓交流功労賞の推薦)

第15条 日韓交流功労賞被表彰候補者の推薦は、この法人の理事が行う。

2 推薦にあたり広く関係者に意見を求めることができる。

(被表彰者決定の手続き)

第16条 被表彰者は、表彰委員会で決定し、理事会の承認を得る。

(表彰方法)

第17条 表彰は、この法人が開催する医学検査学会等において執り行い受賞者には表彰状を授与する。

2 この表彰は、副賞を贈呈することができる。

(その他表彰事業)

第18条 この法人が独自に行う表彰事業のほか、監督官庁をはじめとする関係団体が行う表彰に関しこの法人の会員にとり有効と考えられるものについては、積極的に対応するものとする。

(改廃)

別紙報告書④

第 19 条 この規程の改廃は、理事会の議を経て行う。

(附則)

1 この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める一般社団法人の設立の登記の日から施行する。

2 表影規程(昭和 49 年 4 月 26 日制定)は、この規程の施行をもって廃止する。

日臨技学生表彰 会長賞審査基準

(臨床検査技師養成施設等 卒業時表彰)

平成 27 年 12 月 5 日制定

(目的)

第 1 条 本表彰審査基準は、一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会（以下 日臨技）が、臨床検査の将来を担う優秀な学生を表彰することで、臨床検査技師として、より一層の精進に期待することを目的とする。

(対象)

第 2 条 この基準は日臨技表彰規程第 2 条第五号に基づき、臨床検査技師養成施設等の学生に対して、卒業時に優秀な学生と認められた者を対象とする。

(推薦基準)

第 3 条 次の各号のいずれかに該当する学生から推薦するものとする。

- 一 臨床検査技師会が主催または共催、後援する各種事業において、優れた活動実績を残した者。
- 二 学業成績が特に優秀で、かつ他の学生の規範となると認められた者。
- 三 ボランティア活動等の社会活動において、特に顕著な功績を残し表彰に値すると認められた者。

(表彰対象者の推薦)

第 4 条 前条の推薦基準に該当する卒業生がいる養成施設等は、連絡責任者を通じて別途定める推薦状を、毎年 1 月末日までに日臨技に提出する。

2 推薦者数は各養成施設等で、各卒業年度の 1 名とする。

(表彰者の決定)

第 5 条 前条に基づき、推薦のあった第 3 条に定める各賞対象者の審査は日臨技表彰委員会で行う。

(通知)

第 6 条 表彰者の通知は、執行理事会承認後すみやかに各校の連絡責任者に通知するとともに、理事会へ報告する。

(表彰の方法)

第 7 条 表彰の方法は次による。

- 一 表彰状の授与は養成校に一任する。ただし養成校から依頼があり、日臨技理事・日臨技幹事等が対応可能な場合は、日臨技会長の代理として表彰状の授与を行う。
- 二 表彰者には賞状及び記念品を授与する。

(附則)

この審査基準は、平成 27 年 12 月 5 日より施行する。

平成 29 年度 学術部発 29 号

岐臨技会員・賛助会員 各位

平成 27 年 10 月 20 日
(一社)岐阜県臨床検査技師会
会 長 兼子 徹<公印略>
学術部総括 浅野 敦
学術部長 帖佐 光洋

「岐阜県臨床検査技師会誌」投稿論文募集のお知らせ

岐阜県臨床検査技師会では「岐阜県臨床検査技師会誌」を毎年3月に発行に向けて準備をしています。今年も論文の募集をしますので、岐臨技会員皆様方からの多数の論文投稿をお待ちしております。

掲載条件： 日本医学検査学会・中部圏支部学会・岐阜県医学検査学会の演題や、過去に「岐阜県臨床検査技師会誌」に投稿されていない論文であること。

投稿期限： 岐臨技へ平成 30 年 1 月 5 日（金）までに投稿依頼があったものを、岐臨技査読委員会で査読して、後日詳細を報告します。

投稿規定： 原稿については「医学検査」の投稿規定に準じます。

【注意】 医学検査投稿規定に準ずるとありますが、岐臨技会誌論文について「、」は、全て「,」「.」を使用することにします。

投稿方法： 期日までに岐阜県臨床検査技師会事務所に、①投稿論文・②画像データ・③引用論文データをメールの添付ファイルで送って下さい。岐臨技査読委員会で査読して詳細をメール報告し、初稿原稿を作成します。

連絡先： 岐阜県臨床検査技師会事務所
TEL 058-275-5596
E-mail giringi-office@giringi.jp



【今後の予定】

平成 30 年 1 月～2 月末までに岐臨技査読委員会（副会長・学術部長・各部門長）にて内容を検討し、初稿原稿作成・製本印刷して 3/20 の事務局発送で配布する予定です。



第67回日本医学検査学会 ⑩ 浜松

2018年5月12日・13日

Let's go this way

— その道を進もう —

多様な役割のなかで、新たな存在価値を示す

2017年11月吉日

別紙報告書⑥

浜松
トシティホテル浜松
ンパレス浜松

学会長 山口 浩司 (聖隷三方原病院)
実行委員長 伊藤 喜章 (静岡厚生連 遠州病院)
事務局長 齋田 明広 (静岡県立総合病院)

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会 御中

資料 : 5

第67回日本医学検査学会

学 会 長 山口 浩司

学会事務局長 齋田 明広



第67回日本医学検査学会 一般演題座長候補推薦について(ご依頼)

拝啓 晩秋の候、貴会におかれましては益々ご発展のこととお慶び申し上げます。

さて、第67回日本医学検査学会を、2018年5月12日(土)、13日(日)の2日間、アクトシティ浜松、オークラアクトシティホテル浜松、ホテルクラウンパレス浜松にて開催いたします。

従来から当学会の一般演題座長は各都道府県技師会の推薦を受けて選考しており、第67回学会におきましても学会実行委員会で指定した分野の座長を、各都道府県よりご推薦いただくことといたしました。尚、推薦の依頼数は過去の一般演題の応募数を参考に割り振りしております。

つきましては、下記の通り貴会より一般演題座長候補者の推薦をいただきたく、お願い申し上げます。

ご多忙の折誠に恐縮ではございますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

96. 座長候補者の資格

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会の正会員で、平成29年度会費を完納し、過去5年以内に生涯教育履修を終了した方といたします。

97. 推薦依頼分野と人数 合計 3 名

生理	微生物	臨床化学	血液	免疫血清	病理	チーム医療	一般	管理運営
		1	1	1				
輸血	遺伝子・染色体	教育	細胞	(公衆衛生・微生物)	公衆衛生	情報システム	示説(英語)	その他
		森さゆり	渡邊宜典	石田秀和				

98. 推薦方法

同封の座長候補者登録用紙に必要事項をご記入の上、FAXにて運営事務局までご返信ください。
推薦期日: 12月4日(月) ※期間が短く申し訳ございませんが、よろしくお願い申し上げます。

99. その他

- ・座長の旅費、宿泊費等の経費は規定により負担はございませんので、あらかじめご了承ください。
- ・採否、演題の割り当て等は実行委員会に一任願います。
- ・座長の決定は1月中旬の予定です。
- ・担当演題及び日時等は、貴会および候補者へ別途ご連絡いたします。
- ・推薦者が少なかった場合は、実行委員会でご選任させていただきます。

100. 同封物 FAX返信用紙 3 枚 (+予備1枚)

以上

お問合せ先: 第67回日本医学検査学会 運営事務局 演題登録担当: 福島・谷
株式会社 JTBコミュニケーションデザイン ミーティング&コンベンション事業部
TEL: 06-6348-1391 FAX: 06-6456-4105 E-mail: 67jamt@jtbcom.co.jp

<http://convention.jtbcom.co.jp/67jamt/>

別紙報告書⑦

岐阜県臨床検査技師会 拡大研修会 研究班履歴

年度	拡大研修会	研究班			地区	テーマ	研究班	回数	
平成19年度	春季拡大研修会	一般	情報	臨床化学	西濃		血液	5	
	秋季拡大研修会	細胞診	生理	微生物	東濃		一般	7	
平成20年度	春季拡大研修会	一般	臨床化学	免疫血清	情報	岐阜	病理	5	
	秋季拡大研修会	病理	女性向上			中濃	細胞診	4	
平成21年度	春季拡大研修会	血液	輸血			西濃	微生物	4	
	秋季拡大研修会	生理	生理			東濃	生理	7	
平成22年度	春季拡大研修会						臨床化学	5	
	秋季拡大研修会						免疫血清	4	
平成23年度	春季拡大研修会	輸血	一般	血液		岐阜	輸血	4	
	秋季拡大研修会	免疫血清	病理	細胞診		飛騨	検査総合	2	
平成24年度	春季拡大研修会	微生物	臨床化学	免疫血清		西濃	チーム医療	遺伝子	2
	秋季拡大研修会	生理	一般			中濃			
平成25年度	春季拡大研修会	微生物	血液			岐阜	敗血症とDIC		
	秋季拡大研修会	病理	細胞診	免疫血清		東濃	甲状腺		
平成26年度	春季拡大研修会	一般	生理			西濃	慢性腎臓病 CKD		
	秋季拡大研修会	輸血	血液			飛騨	貧血		
平成27年度	春季拡大研修会	検査総合	生理			岐阜	臨床検査の方向性		
	秋季拡大研修会	病理	細胞診	臨床化学		中濃	糖尿病		
平成28年度	春季拡大研修会	一般	病理細胞			西濃	大腸・内視鏡		
	秋季拡大研修会	微生物	遺伝子			東濃	肺炎		
平成29年度	春季拡大研修会	輸血	血液			岐阜	移植		
	秋季拡大研修会	生理	検査総合			飛騨	認知症と臨床検査		
平成30年度	春季拡大研修会	臨床化学	一般			西濃			
	秋季拡大研修会	病理	遺伝子			中濃			

●春季・秋季拡大研修会。目的:1つの病態をテーマに、多方向から考える。
2つの研究班をコラボして、臨床病態解析力を学ぶ。